

2023年度 CSRレポート

(対象期間：2022年7月1日～2023年6月30日)



発行日：2023年9月30日

株式会社 岡工務店

品質・環境方針の宣言

＜経営理念＞

「社会貢献」・地球環境保全・顧客重視・労働安全

品質環境方針

当社は、企業理念である「社会貢献」を基本として建設の受注から引渡しの全ての工程において「地球環境保全」「顧客重視」「労働安全」を徹底します。

施工現場の環境整備とリスクアセスメントの推進と日々の改善を通じて常に顧客満足度と施工技術の向上を目指して、地元近隣への地域貢献を図ります。

1. 建設現場における安全対策、資源の再利用と環境汚染の予防に努め、経営システムの継続的な改善を進めます。
2. 建設活動の全ての業務において、関連する法規並びに当社が同意する要求事項を遵守し顧客要求事項に適合した建設構造物を提供します。
3. 品質・環境目標の設定を行い、適切性持続のためのレビューの枠組みを与えます。
 - ① 建設施工の品質・顧客満足度の向上
 - ② 自ら施工販売、提供する構造物(製品・サービス)における環境配慮
 - ③ 全社における廃棄物の低減及び資源の再利用の徹底
 - ④ 事業活動全体での二酸化炭素排出量の削減・節水・グリーン購入の実施
4. この方針を全ての従業員に周知し、達成のために全員参加で取り組みます。
5. この会社方針は一般に公開し、一般の人々に入手可能なように配慮します。

制定日 2008年9月1日

改定日 2020年7月6日

株式会社岡工務店

岡 栄治

2. 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 岡 工務店

代表取締役 岡 栄治

(2) 所在地

本社 兵庫県神戸市兵庫区水木通4丁目1番1号

大阪支店 大阪市北区天神橋1丁目1番18号

(3) 品質・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

品質・環境管理責任者 岡 澄彦

事務局

連絡先 電話 078-576-2626 FAX 078-576-3706

(4) 事業活動内容

建築構造物の設計・施工

(5) 事業規模

年間売上高 7,140 百万円 (2023/6期実績)

従業員数 58 人(2023年4月1日現在)

床面積 3,588 m²

(6) 建設現場等の概要 (2023年度)

建築工事 208 件

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 株式会社 岡工務店 本社、大阪支店

対象外 なし

活動 建築構造物の設計・施工

主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	133,240	129,955	103,574
産業廃棄物排出量	トン	1,337.78	1,576.40	1,568.21

電力の二酸化炭素排出係数 2022年：0.362kg-CO2/kWh。 電力会社 エネット（本社）。

：0.391kg-CO2/kWh。 電力会社 関電（現場）。

3. 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

環境レポートは、2022年7月～2023年6月実績を報告する。

(4項に詳細を報告記載) 実績における () 内数字は削減率

No.	環境目標	基準年度 (2022年度実績)	2023 年度			2024 年度 計画	2025 年度 計画
			計画	実績	達成度 (%)		
1	[二酸化炭素排出量削減] 現場を含まない	50, 121kg-CO2	50, 121 基準年 基調	45, 727	101.4	45, 727	45, 727
	購入電力の削減	128, 126kWh	128, 126 基準年 基調	126, 319		125, 249	125, 449
2	[二酸化炭素排出量削減]	20083. 3Kg-CO2	20069. 6	17224. 1	95.2	17, 220	17, 220
	燃費の向上 (新規目標)	13. 13Km/ℓ	13. 15	12. 51		12. 5	12. 5
		8656. 6ℓ	8650. 0	7424. 21		7, 420	7, 420
	[二酸化炭素排出量計]	70204. 3	70204. 3	62951. 1	115.2	62, 947	62, 947
3	[建設現場]産業廃棄物の リサイクル率向上	79.8%	80.0	85.2	106.5	85.2	85.2
4	自ら設計施工を行う物件 にエコ商品を提案	75	75	77	102.6	75	75
5	工事における環境配慮	68.9	67.0	70.4	105.0	67.0	67.2

CO2 排出係数:2022 年は、0.362kg-CO2/kWh。 電力会社 (株)エネット (本社)

次年度はミツウロコを採用予定

2 の注記 燃費=92,910 km/7424.21 リッター

3 の注記 リサイクル率=再生利用/産業廃棄物発生量合計=1355.44/1568.21 トン

環境方針で宣言した安全対策は安全衛生委員会活動により展開します。

顧客要求事項に適合した建設構造物の提供は品質マネジメントシステムにより実施します。

4. 主要な環境活動計画の内容と達成状況

No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成度(2022/7 ~ 2/6)	評価	次年度の取組内容
1	購入電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> こまめな消灯 事務所室温の管理 クールビズ、ウォームビズの採用 	目標：128,126kWh 実績：126,319kWh 達成率 101.4%	目標達成 達成 101.4	<ul style="list-style-type: none"> こまめな消灯 事務所室温の管理 クールビズ、ウォームビズの採用 費用低減のため供給会社を変更予定
2	燃費の向上(新規目標)	<ul style="list-style-type: none"> 個別の車両消費量の管理 アイドリングストップ 	目標：13.15km/ℓ 実績：12.51km/ℓ 達成率：未達成	目標未達成 達成 95.2	<ul style="list-style-type: none"> 個別の車両消費量の管理 アイドリングストップ
3	産業廃棄物のリサイクル率向上	<ul style="list-style-type: none"> 現場での分別の徹底 再資源の活用 リサイクル率の表示 	目標：80 % 実績：85.2% 達成率：106.5%	目標。達成 達成 106.5	<ul style="list-style-type: none"> 現場での分別の徹底 再資源の活用 リサイクル率の表示
4	自ら設計施工を行う物件にエコ商品を提案	<ul style="list-style-type: none"> 自社設計案件を対象工事とする 環境配慮評価・75点以上 	目標：75点 実績：77 達成率：102.6%	自社設計物件 2件 北須磨支所、高島工作所新築工事監理 達成 102.6	<ul style="list-style-type: none"> 環境に寄与できているか否かを評価
5	工事における環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> 施工中工事の月例巡回評定を基準とする 原則 67 点以上 	目標：67点 実績：70.4点 達成率：105%	目標達成。 達成 105 月次の安全衛生パトで確認	<ul style="list-style-type: none"> 工事中の現場が法令遵守し環境に寄与できているか否かを評価

5. 法律の遵守状況

下記の通り遵守されていました。関係当局からの指摘はありません、訴訟もありませんでした。

	法律名・条例名	指摘・訴訟の有無	遵守状況	遵守すべき要求事項
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無し	遵法	保管基準の順守。 地下浸透の防止。 マニフェストの照合。
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	無し	遵法	特定建設資材について、その分別解体等及び再資源化を促進するための措置を講じると共に、解体工事業者について登録制度を実施し再資源の十分な利用と廃棄物の減量を図る。
3	労働安全法	無し	遵法	職場の労働者の安全と健康の確保と快適職場環境の形成を促進する。
4	騒音規制法	無し	遵法	特定施設の設置、変更時の事前届出。 特定建設作業の事前届出。
5	振動規制法	無し	遵法	特定施設の設置、変更時の事前届出。 特定建設作業の事前届出。
6	土壌汚染対策法	無し	遵法	土壌の特定物質による汚染の状態の把握に関する措置及びその汚染による人の健康に係る被害の防止に関する措置を定める。
7	消防法(危険関連)	無し	遵法	防火管理者の専任。 訓練の実施・消防設備の点検。 消火活動上必要な施設等の設置。
8	グリーン購入法	無し	遵法	国、独立行政法人及び地方公共団体による環境物品の調達の推進、環境物品に関する情報の提供とその他の環境物品への需要の転換を促進する。
9	神戸市災害協定	無し	遵守	神戸市内において、地震・風水害その他の災害が発生、もしくは発生する恐れのある場合に、応急対策業務を神戸市と協力して講ずる。
10	建設物省エネ法	無し	遵守	自社で設計施工する2,000㎡以上の非住宅について判定基準を設ける。

11	大気汚染防止法(石綿関係のみ)	無し	遵守	特定建設作業実施届出を実施の14日前に知事に届出する。
----	-----------------	----	----	-----------------------------

6. 代表者の環境活動の取組結果の評価

(実施日:2023年7月24日)

同業他社においてISO14001を取得することは珍しくなくなっている。地球環境問題が現実味を帯びている中、企業として社会的イメージアップが必要であり14001を維持していきたい。

環境経営方針、環境経営目標、実施体制：変更なし

以上